

Kaori Yamashita exhibition
A bone streaming down skin, empty scene

山下香里展 | 皮膚つたう骨、空景

2010年9月14日[火] - 10月24日[日]

高松市塩江美術館 入館料：一般 300円、大学生 150円、高校生以下、65才以上の方（長寿手帳が必要）、障害者手帳等の保持者は無料（常設展観覧料含む / 団体 20名以上 2割引）
SHIONOE MUSEUM OF ART 開館時間：9時 - 17時（最終入館は16時半まで） 休館日：月曜日（但し休日と重なる場合はその翌日） 主催：高松市塩江美術館



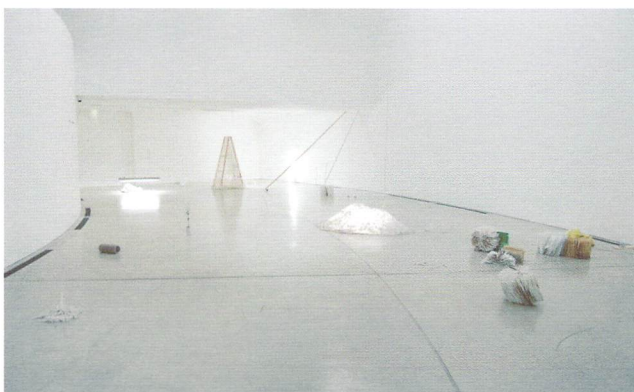
「台風の日を洗す事は可能だろうか?」2006, VSC



「脱臼する地下、空景」2009, FEMTE



「山間、斜視と空景」2008, 所沢旧車両倉庫, photo: 山本紉



「登頂する骨盤」2007, 国際芸術センター青森

このたび、高松市塩江美術館では香川県出身の現代美術作家、山下香里の展覧会を開催いたします。2002年多摩美術大学絵画学科卒業の年、「フィリップモリスアートアワード」で大賞を受賞。現在まで東京を活動拠点に、多数の展覧会や国内外のアーティスト・イン・レジデンスに参加するなど精力的に作品を発表し続けています。

山下は、絵画やドローイング、複数の立体物など様々なメディアを用い、空間全体を作品として構成していきます。こういった手法はインスタレーションと呼ばれており、一般に作品と呼ばれるオブジェクト（物）だけでなく、オブジェクトが配置される場所自体も作品に取り込んでゆくという現代美術の一手法です。

このような方法で山下によって生み出される作品空間は、彼女自身の内的現実と外界のズレを手がかりに、世界のもうひとつの姿を顕在化させます。崩壊を示唆し、空虚と混沌が反転交錯する作品空間は、私たちの見慣れたはずの世界にねじれをもたらし、消去された日常とでも言うような印象を与えます。山下の生まれ育った土地と彼女の現在が交わる時、この展覧会は私たちに新たな風景の眺め方を教えてくれることでしょうか。

【関連ワークショップ】

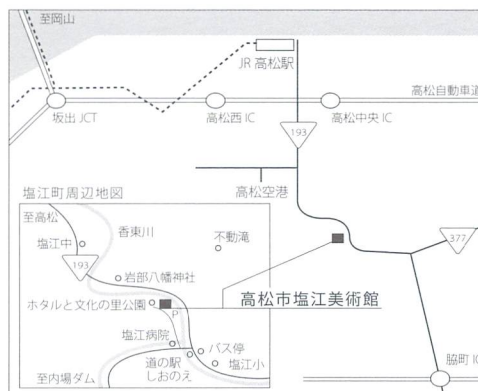
「手のひらの山脈をつくる」10月23日[土]午後1時～3時
講師：山下香里
受講料：200円 材料費：300円
参加：小学生以上 先着15名
美術館まで電話でお申し込みください。

【同時開催】

高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.01
「もうひとつの・カーニバル」
出品作家：青木陵子、石田尚志、猪瀬直哉、カミイケタカヤ、山下香里
会期：9月18日[土] - 10月24日[日]
会場：高松市美術館 (tel/087-823-1711)

高松市塩江美術館
SHIONOE MUSEUM OF ART

〒761-1611 香川県高松市塩江町安原上 602 番地
TEL:087-893-1800 FAX:087-893-1833
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/5041.html>



【アクセス】

- ◎飛行機の場合
羽田空港 — (約1時間10分) — 高松空港 — (タクシー約20分) — 塩江
- ◎電車/バスの場合
JR 高松駅 — (コトデンバス穴吹線：約60分/21km) — 塩江
- ◎お車の場合
高松中央 IC または 高松西 IC — (約35分) — 塩江
- ◎駐車場
無料 (50 台可)

※所要時間は交通事情などによって異なりますので、おおよその目安としてお考え下さい。
表面作品：「台風の日を洗す事は可能だろうか?」2009